

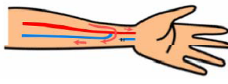



シャント血管拡張術を受けられる患者さんへ

様

担当医

説明看護師

この予定表はおおよその目安です。患者さんの状態や治療の経過等により、予定が変更になったり入院期間が前後することがありますのでご了承ください。わからないことがありましたら、遠慮なくスタッフにご相談ください。

月日	/		/		/	
経過	入院日	手術前	手術後		退院日	
目標	治療の内容を知っている。		シャント音が聞こえる。 スリルがわかる。 穿刺部の痛み、出血、腫れがない。 疼痛のコントロールができて いる。 造影剤アレルギーがない。		退院後の生活の注意点を知っている。	
処置		貴金属類や義歯は外して下さい。 手術着に着替え、歩行または車椅子でカテーテル室へ行きます。	出血しないように穿刺部を圧迫し、シーネという板で腕の安静が保てるように固定します。 		朝、医師の診察の際に固定を外します。	
点滴		治療前の点滴は基本的にはありません。 必要時、カテーテル室で点滴を行います。				
お薬	内服薬の確認をしますので、普段飲んでいる薬とお薬手帳を忘れずに持ってきて下さい。 医師の指示通りに内服して下さい。 					
検査		必要時、検査が入ることがあります。				
食事	塩分制限食	治療後はおにぎり・串刺しのおかず等になります。		制限はありません。 		
活動安静度	院内であれば制限はありません。	治療後は腕を安静にしてください。		制限はありません。		
排泄						
清潔		出血しないように腕の安静を守っていただく必要があります。着替えが必要な場合は看護師へお知らせ下さい。		シャワー浴が可能です。 退院して翌日までは長湯や熱いお風呂は避けて下さい。		
説明指導	病棟を案内し、入院中の生活とスケジュールについてご説明します。 同意書類を確認します。 治療の開始時間はわかり次第お伝えします。		シャントを圧迫させるような動作（腕枕をする、腕時計をはめる、重い荷物を持つなど）はしないで下さい。		退院の書類を受け取ってから退院の手続きになります。 診察券などお返しします。 	

済生会横浜市東部病院 血管外科 2015年12月16日作成



内服薬は医師の指示通りに内服して下さい。
シャントを圧迫させるような動作（腕枕をする、腕時計をはめる、重い荷物を持つなど）は避けて下さい。
治療部位から出血、赤く腫れるなどの症状がある場合には、早めに外来受診をして下さい。